

授業改革支援事業

資料 4 - 3



小規模校連携モデル(合同教科会)研究



取組内容

③Googleクラスルームで情報交換



令和8年6月16日(火)教員養成部会 発表資料
岡山県教育庁義務教育課 課長 横山 智康

1 事業説明



- ① 複数学年を担当する「**タテ持ち**」研究
→ 中学校の組織的な授業改善の体制づくり

【成果】教科会の実施による授業改善や指導力の向上に繋がった。

- ② 地域の中学校が連携する**合同教科会**の研究
→ 授業力向上のための持続可能な体制づくり

小規模校における課題

一人の教員で教科指導を行うため、同じ教科の教員同士で、**対話的**に教材研究や授業の振り返りを行うことが難しい。

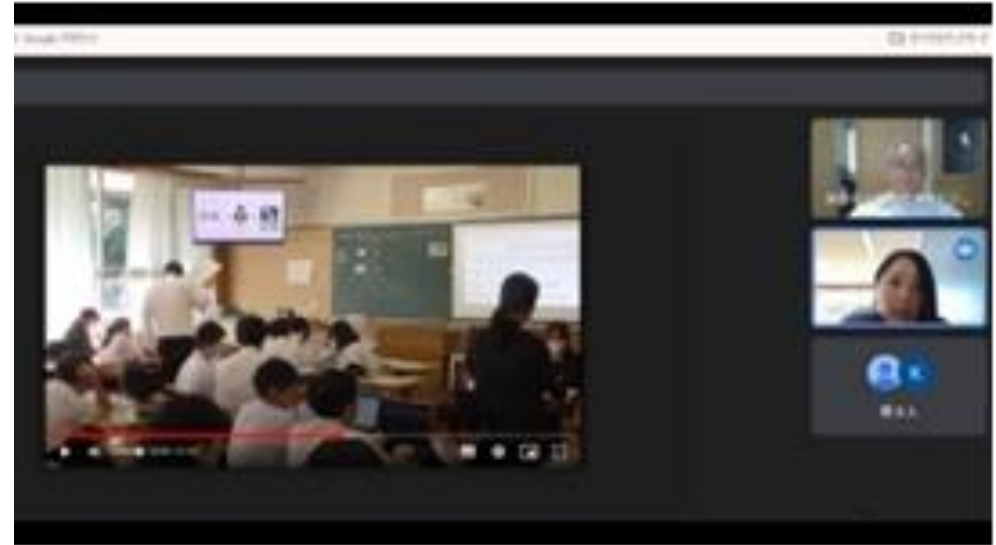
小規模校連携モデル研究の趣旨

教科研究推進員を配置し、本務校、兼務校及び連携校による定期的な**合同教科会**を開催し、日常的な授業改善の取組の充実と**授業力の向上**のための体制づくりを促進する。

2 主な実践例



【資料を非同期で共有】



【授業動画を見てオンラインで協議】



【定期的な合同教科会】



3 先生方の声

(1) 2年目教員(当時)



私は2年目ですが、授業についての悩みが尽きません。どうやったら今向き合っている生徒たちに力を付ける授業ができるか。

この教科会で、いろいろな先生方の話を聞いたり、授業を見させていただいたりする中で、「これだったらこの子たちにもできるかもしれない」というヒントをたくさん得ることができて、私の力になっています。

3 先生方の声



(2) 10年目教員(当時)

校外で受講する研修との違いを一言で表せば「**主体性**」。

教科会で何を扱うかについて、**課題に応じて考えることができた**。

また、ICT活用などは、**若手の先生から学ぶ**ことも多くあった。

4 おわりに



岡山県が求める教員像

多様な経験を積む中で協働して課題解決に
当たるなど、**生涯にわたって学び続ける教員**

第4次教育振興基本計画

授業力が高く、新たな教育課題に対応できる、**不断に学び合う教員**を育成する。